

第5回北九州市食育推進懇話会 議事録

1. 開催日時

令和6年1月26日(金) 18:30~19:50

2. 開催会場

北九州市役所 10階 10A会議室

3. 出席者

(1) 構成員

穴井構成員、◎天本構成員、木村構成員、黒田構成員、中尾構成員、○長尾構成員
永津構成員、馬場構成員、原田構成員、藤崎構成員、安木構成員、山下構成員

(50 音順・敬称略、◎:座長、○:副座長)

(2) 行政

(事務局)保健福祉局、子ども家庭局、産業経済局、教育委員会

4. 次第

(1) 開会

(2) 議題

- ① 確認事項 第4回北九州市食育推進懇話会議事要旨
- ② 次期北九州市食育推進計画に対する市民意見募集(パブリックコメント)について
- ③ 次期北九州市食育推進計画(最終案)について
- ④ その他(意見交換)

(3) 閉会

5. 議事

(天本座長)

第5回、最終回となります。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

議題1になります。

第四次北九州市食育推進計画の素案に対し、令和5年12月20日水曜日から令和6年1月19日金曜日までパブリックコメント、市民意見の募集を実施いたしました。

パブリックコメントの結果について、事務局から説明をお願いします。

(健康推進課長)

それではご説明いたします。初めに参考資料1をご覧ください。

前回の第4回食育推進懇話会の議事要旨となります。

前回は計画の素案について、設定するスローガンについてご意見をいただきました。構成員の皆様にごいただいたご意見等を参考に修正を加えた素案について、今回パブリックコメントを実施しております。

パブリックコメントの結果につきましては、資料1をご覧ください。

昨年12月20日から1ヶ月間、市民意見の募集を行いました結果、市民の方から計33件のご意見をいただきました。

意見の内訳をご覧ください。

第4章の食育の取り組みについて、最も多くのご意見をいただいております。約半数となっております。その中でも、次世代へつなぐ社会環境の整備について、多くのご意見をいただきました。

ご意見の計画への反映状況について、下の表をご覧ください。

「既に計画に掲載済み」が6件、「計画に追加修正を行ったもの」が7件、「今後の参考とさせていただくもの」が15件、「追加修正なし」が2件、「その他」が3件です。

次に資料の2をご覧ください。

パブリックコメントに対する市の考え方についての一覧になります。

内容につきましては、計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示すご意見や、今後の進め方に対する考えを述べられたご意見、計画の内容や表現に対して追加や修正を求めるとご意見等がございました。

それぞれのご意見に対する市の考え方と、計画への反映状況につきまして、表の右側の方に掲載しております。

このうち、計画への反映結果が、②の「追加・修正あり」になっている7件につきまして、ご説明をさせていただきます。資料が飛びますが、資料4をご覧ください。

修正の内容につきまして、まず修正の1は、本編の5ページに、世帯の小人数化(こにんずうか)と表記されているところに、ご意見を受けて、少人数化(しょうにんずうか)と修正しております。人数が少ないことを示すものとして、「こにんずう」という言葉を使用しておりましたが、一般的にイメージしやすいよう「しょうにんずう」に修正いたしました。

修正の2は、本編の5ページの「健康寿命」についての説明について、ご意見を受け、37ページと同じ表現、「健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間」と修正しております。

修正3は同じく、食をめぐる現状と課題のところになりますけれども、次のページにあります通り、読みやすい表現に修正しております。

続いて修正4は、本編22ページの災害の備えに関するトピックスの中で、家庭の備蓄の例として、高齢者や乳幼児、アレルギーをお持ちの方、慢性疾患がある方など配慮が必要な方々やその家族に向けての記述を追加しております。下の枠囲みの右側下線部分が追加をしている部分になります。

続いて修正の5をご覧ください。

食育推進上の課題について、食塩の過剰摂取のところ、塩分の過剰摂取としていたところを、食塩の過剰摂取に修正しております。

続きまして修正の6。本編35ページのトピックス「朝食で1日をスタート」の中にある、欠食と肥満のところで、夜遅い食事と肥満のリスクについて、よりわかりやすい表現に修正しております。下の枠囲みの修正後のところ、「エネルギーが消費されにくいと、余分なエネルギーが体脂肪として蓄積されやすく」という部分を追加しているところになります。

続いて修正7、食文化に関するもので、北九州市の食文化について幅広く言及して、取り組み

を広げていかれると良い、というご意見がございました。それを受けまして、次のページになりますけれども、本編43ページのトピックスに「つなごう郷土の食」といたしまして、説明を追加しております。また、北九州市のご当地メニューのところにも下線部分の説明を追加したところになります。

以上の通り、パブリックコメントでいただきましたご意見を受けて修正を加え、次期食育推進計画の最終案を策定しております。資料3に最終案を添付しております。

前回の懇話会でいただきましたご意見を受けて、本編の33ページ、34ページに給食についてのトピックスを追加しております。保育所給食レシピの紹介と、学校給食ができるまで、レシピコンクールについて掲載しております。

また計画書の最後の57ページに食育推進のピクトグラムを掲載しております。その他、文言の修正等、誤植の部分等についても、適宜修正をしているところになります。

以上で、パブリックコメントの結果と最終案についてのご説明を終わります。よろしく願いいたします。

(天本座長)

ただいま事務局からご説明がございましたけれども、ご意見ありませんでしょうか。

パブリックコメントのご意見を受けて修正された部分について、市のホームページに掲載されますか。

(健康推進課長)

市のホームページに掲載することになっております。

(天本座長)

ご説明をいただきました、この食育推進計画について、構成員の皆様からご意見等ございませんでしょうか。

第四次食育推進計画の素案に対する、パブリックコメントの結果と市の考え方でございます。

資料2の上に、意見の内容と意見の反映結果があります。

反映された結果を見ていただきますと、第2章に表現や内容に対して追加修正を求める意見というのが、たくさん出ておりますので、修正を加えています。この第2章がほとんど追加修正でございましたので、意見を反映しています。

資料2の2ページ目をご覧ください。意見をいただいた時期がいつかわかりませんが、ナンバー8と10、元日の能登半島の地震を受けまして、輪島市の方は震度7の地震でしたけども、大きな被害を受けておられます。被災地には、本市の職員の方も能登の方に支援チームとして、行かれると聞いております。本市の方々は熊本の地震の時も、支援にいかれたということを聞いておりますので、そういった支援の経験も含めて、市民に対して、いろいろと示してくださるとよいと思います。

8番と10番に関しては、とても大事なことで、他も大事ですけども、市民の意見として、高齢者、乳幼児等の特別な配慮を必要とする方々の食品の備蓄に関しては、やはり専門家でないところもありますので、ここは記載いただいたことが大事だと思います。

第4章の食育推進の取り組みに関してご意見等いただいておりますけども、気になりましたのが、ナンバー15で高校生のアプローチがあまりないというご意見をいただいております。

確かにそうです。市としての回答もありますけども、市では北九州市立高校等に食育をされてい

ますが、もっともっと、高校生に対して食育を広めてもらうことが出来ればいいなと思いますし、部活動、スポーツ活動が盛んに行われている学校には、スポーツ栄養士を送って、アスリートたちのパフォーマンス力の向上やコンディションの管理等の栄養管理を行う「スポーツ栄養士」の派遣事業というふうなものも、含めていただければよいかと思っています。

他に構成員の方々。何かございませんでしょうか。

ホームページに掲載するときに、ここは問題あるのではないかとか、もうちょっとこう、やわらげて書いた方がいいのではないかと等ございましたら、ご意見いただければと思います。今回の懇話会が終わりまして、事務局の方におっしゃってくださったら訂正いたしますので、よろしくお願ひします。

それでは第四次の食育推進計画最終案についてご異議等ございませんでしょうか。

概要版は表紙の食育のアイコンがオレンジ(朱色)で、本編はカラーになりますが、これは色の違いに意味がありますか？

(健康推進課長)

本編の方は、本日は白黒で印刷しておりますが、中身も含めてカラー刷りになります。今おっしゃっていただいたアイコンの意味合いです、いろいろな食材を、特に朱色の方は市の食材も取り入れて北九州市の形を作っており、また、ハートの形で「愛」を表しているということもイメージできるようなイラストになっております。

(天本座長)

ありがとうございます。概要版を含めまして、皆様何かご意見ありませんでしょうか。

概要版の資料を開いていただきまして、今、本市で策定され一緒に動いております「健康づくりプラン」があります。概要版開きの左上の「食育の課題」で、左側から4番目の「エネルギーの過不足」のところまでは、健康づくりプランとの関係性が深いところになります。そして、5番目の「食への理解と感謝の意識の醸成」、こちらは食育推進計画の中で特化し、メイン計画の1つとして取り上げていけないといけないところです。

5つの課題すべて大事なのですが、これらを重点項目として、5回にわたり、皆様にご意見いただきながら、検討を進めてまいりました。冊子もでき上がっております。

言い回しですが、概要版右側の2の食の安全・安心の推進のところは、「リスクコミュニケーション」が正しいのではないかなと思うのです。

(健康推進課長)

ありがとうございます。修正をさせていただきます。

(天本座長)

あと、29ページ、関係者と連携して、この食育計画を進めていくにあたり、「大学」が入っていません。北九州市は10の大学を持っておりますので、北九大をはじめ、医療、栄養、福祉を専門とした大学もあります。それから、工学部もございますので、今のデジタル化に沿った食育の推進デジタルツールの開発等でお役に立てる部分はいっぱいあると思いますので、ぜひ関係者に含めていただければと思います。

やはり今回の重点課題、重点ターゲットである若い世代の中に大学生もターゲットに入っていると思いますので、私たち大学教員が大学生に食育について教示するだけではなくて、逆に大学生の方から食育を発信して、市民に展開してもらえば一番いいなと思うので、そこも含めて、よろしくお願いします。

(健康推進課長)

ありがとうございます。関係者の中に、大学を追加して修正できればと思います。

(天本座長)

構成員の皆様は何かございませんか。パブリックコメントが終わりましたので、そんなに意見がないとおっしゃるかもしれませんが。

スローガンに「食べかたは、生きかただ。」ということで、26ページと概要版にも載せております。

ちょっと言い方をやわらげまして「食を愛そう、未来を愛そう。北九州市と。」なっておりますので、頭に入ってきやすいスローガンになったかなと思っております。

ではその他として、意見交換に入ります。

(健康推進課長)

本日が最後の懇話会になっておりますので、ご挨拶をいただきたいと思っております。

(天本座長)

本日が最後ですので、構成員の皆様、突然ですがご挨拶をいただければと思っております。

(穴井構成員)

PTA協議会が、6月が代替わりということで、途中からの参加になりまして、全体がやっと今わかったという感じです。

今、この会だけではなくて、特に給食に関わることとか会議に出ているのですが、情報をいただいて、それを会の役員の中で共有するのはなかなか時間的な制約とかがあって難しいのですが、今我々はDXをちょっと進めておりまして、お子さんがプリントを家に持って帰らない、学生かばんの下に埋まっているみたいなことは、今でもあるのですが、最初は各省庁からのいろんな手紙みたいなのが多すぎて、学校の現場でも先生方が、配れない。それだけで事務作業が大変だということで平積みしているような学校もあるようなので、いろいろ情報が届けにくいなというところがあります。

DXができるようになると、保護者へ直接、PTA協議会から情報を届けることができるので、我々もこういう話がありましたとかってということは、どんどん発信をしていきたいなというふうに計画をしているので、食育懇話会での情報も集約できるものはしていきたい、こういうことやっていますというのはなかなか皆さんが知る機会がないと思いますので、しっかりやっているのだということを発信していかないと、と思っております。

(天本座長)

DXを活用した食育の推進をぜひよろしくお願いいたします。

(木村構成員)

今回、初めて参加させていただいて、食育という問題に自分なりに取り組んでいたのですが、いつも子どもと共に過ごしてきて、例えば食べるという事は幼児期の子どもにとっては、成長につながりますので、とても大切なことですが、なかなか保護者に伝えにくいというか、それよりも保護者の方は、給食にして欲しいなど、自分の家庭の食についてどのように考えているのかなという部分でなかなか繋がりが持てないので、今回こういう機会をいただいて考えさせられましたし、今後、活かしていきたいなと思いました。ありがとうございました。

(天本座長)

幼稚園は、給食にされているところもありますけれどもまだ、お弁当のところもありますので、持参するお弁当の内容に食育を活かすことができるといいですね。

(木村構成員)

うちはお弁当(給食)も入れているのですが、お弁当はやめてほしいと言われがちなので、週に2回はお弁当、3回が給食にしているのですが、週に2回の手づくりのお弁当も難しいと言われます。自分はお弁当づくりをしてきたので、そんなに負担を感じてはいなかったのですが、小さいお弁当でも負担で、給食がよいとすぐ言われます。

(天本座長)

そうですね。負担だといわれる保護者も多いと思います。食事が大事ということ幼稚園からも発信していただければと思います。お昼ご飯だけではなくて、朝ご飯も夕ご飯も大事であるということも含めてお願いします。

(黒田構成員)

私もこの機会をいただいて、あらためて、色々な取り組みがあるのだなと知ることができて有意義な感じだったなと思います。

保育所は給食なのですけれど、やはり、夏場にすごく朝から暑い季節になってきますと、お弁当をお家から持ってくるとなると今度はそれを管理する、管理体制とかも問題になりますし、やはり食の安全の問題で、りんごの細いのもものに詰めたりとか、誤食で死に至ったりとなると、それを提供する側の責任もあるので、食と言っても、非常に奥深いし、難しいし、どういうふうにたくさんいろんな種類を子どもたちに味わって欲しいけれどもその提供の仕方というのを工夫しないといけないというところで、すごく考えさせられることが多々ありました。

郷土食なんかの話もありまして、取り入れていかないといけないなと考えさせられたりして、ありがたい時間だったなと思いました。

私は食育推進スローガンが、とてもいい感じで、仕上がったと思っています。サブタイトルとスローガンと、とてもよい組み合わせでよかったなと思っています。ありがとうございました。

(天本座長)

保育所は乳児がおりますので、誤嚥や誤飲にも十分な注意が必要ですな。

(黒田構成員)

それで、食べさせ方とかも検討しないとイケないです。

(天本座長)

ぜひ、郷土食についても、子ども達へつないでいってください。食文化の継承をよろしく願います。

(中尾構成員)

ちょうど今、「給食週間」で、1週間。多分どこの小学校も中学校も、給食に関わる人に感謝をしようという気持ちが育つように栄養教育を投げかけていくような1週間なのですが、それによって給食には、沢山の人が関わっている。作っている人もそうだし、搬送する人もそうだし、調理員さんだけでなく、沢山の人が関わっているということに感謝する。

おそらくどこでもお礼も含めて「ありがとう」と言われるので、ちょっと嬉しい誇らしい1週間なのですが。

こういう市の計画等といった冊子は、(内容が硬いであろうと感じ)すごく開きづらいのだけれども、とても読む側に寄り添ったような感じで、仕上がっているなど、とても素晴らしいなと思います。私達の小さな意見も全部吸い上げてくださって、書いて下さって本当に見やすい状態になっていると思うので、この冊子が出てきたときには栄養教諭に宣伝して、ぜひ使ってくださいと私は声を上げて行きたいと思います。また、子供たちに、繋げていけるといいなと思います。ありがとうございました。

(天本座長)

食に関わる方々が沢山おられて、そして命をいただいて、食に感謝することはすごく大事ですので、ぜひ小学生、中学生の皆様伝えていただいて。あと、この計画をぜひ栄養教諭の先生方に広げてください、よろしく願います。

(永津構成員)

こういう機会には初めて出ささせていただいて、見ている中で、すごくいい食育なんですけど、食育の前の段階の「農家」という原点のところまで戻って欲しいなと思いました。

やはり小学生、中学生、高校生の全部が農業に関わって欲しいなと思いました。原点は農業でするので食べているのは、農家の方が作らないと食べていかれないし、輸入野菜が心配なところもありますし。今の農業の現状というのは後継者がいない少ないというところが一番悩みのところなのですが、そこを育てていくにはどうしたらいいのだろうかと考えていますけれども、やはり小さい頃から農業との関わりを、保育所、幼稚園、小学校において、していただければいいのかなあともものすごく感じたところでした。ありがとうございました。

(天本座長)

北九州にはたくさんおいしい野菜がございいますので、ぜひ後継者を育てるように市から発信を。農業は最近見直されていて、若い人たちも農業をやってみようかなっていう方々も出てきていると聞いていますので、ぜひよろしく願います。

(長尾構成員)

食生活改善推進員協議会の長尾です。

今回このような懇話会に入らせていただいてとても勉強になりました。

特に私たちの活動は、食生活改善推進ということで活動させていただいているのですが、今回の施策の体系の中にも、ライフステージに応じた多様な場での食育の推進という項目がありまして、若い世代、働く世代、高齢期における食育というのを、着実に毎年一つですけれども、地域を選んで、食育推進をしてきております。

また、健康寿命の延伸に繋がるっていうところでも、生活習慣病の発症をどうしたら、どうやっていけるのかとか、また高齢者の低栄養の予防とか、そういったことも具体的に、食育活動として、課題として挙げて活動してきております。

でもなかなかやれるところがたくさんでなく全体でみんなというのではなくて、本当に限られた地域、限られたところで推進をしていくっていうことで、もどかしく感じる時があるのですけれども、一つ一つの積み重ねが大事なのではないかと。

それで、以前ここで話したかどうかちょっと覚えていないのですが。保育園で、「親子ですすめる食育教室」で、エプロンシアターをやったときに、うちのお話をするところがあるのですけれど、その時のお話を家に帰って園児さんが、お母さんに話していたということを二、三年してから聞いて、その話は「そうだったんですね」と話を聞いたのですが、に、やはり食育というのは、その時はすぐ結果が出ることではないけれども、みんなが心がけていかなければいけないことなのだなというを実感したことがありました。

これからも地道ではありますが、みんなで協力して推進していきたいと思っております、今回のこの大きな指針が出たことを、一つの、自分たちの活動の糧にしながら考えていきたいなどと思っております。どうもありがとうございました。

(天本座長)

食生活改善推進員の方々には本当に市民に一番寄り添っていただいて、食生活の改善等努めてくださっていますので感謝しております。今後もよろしく願いいたします。

(馬場構成員)

北九州市立大学の馬場と申します。

私は食育のボランティアに参加している繋がり、この構成員というのを経験させていただいたのですけれど、食育のボランティアという他の周りの学生よりは、少し食への意識が高い団体にいても、なかなか市の食育に関する取組を知る機会がなかったのも、こういう機会をいただいて、具体的なことを知ることができて、充実した取組をされているというのを周りに伝えないといけないなという責任感をすごく感じました。

あと、構成員になってから、周りの人たちの食への意識が少し会話をしながら、注意して見ていると、一人暮らしをし始めて、夕方に起きて1日1食だけ食べてという生活だったりするのを聞いて、外食をするにしても、「きたきゅう健康づくり応援店があるよ」ということを周りの友人にも伝えていきたいなど思っています。ボランティア団体を通してより多くの学生に周知してもらえるように伝えていきたいなど思いました。ありがとうございました。

(天本座長)

馬場構成員には学生の代表として、若い世代の意見を沢山いただいて心強かったです。これからも、食育推進活動をどうぞよろしくお願いいたします。

(原田構成員)

北九州調理師連合会の原田といいます。

先ほどからデジタルの話が出ていますが、僕ら一番アナログな、人とのふれあいの中で仕事をしているメンバーです。

調理師連合会という団体の話を少しさせていただければ、僕のような老兵は去り行くのみというものではなくて、老兵は経験がいっぱいあるから、若い人たちを集めてその経験を伝授していく、伝えていくのが僕らの仕事だっているふうな話を今、しています。

今、毎月1回若い人たち集めて、調理実習の技術の向上という面の勉強会を毎月やっています。和食洋食中華、寿司、すべてを含んでの勉強会をやっております。

調理師連合会の中では、北九州の調理科のある高校に指導員というか、先生として派遣をしております。

それと、北九州市には技の達人という表彰制度があるのですが、自分たちの調理師連合会の中から、今年2名受賞させていただきました。現在 14～15 名のメンバーがいて、それぞれが活動しています。

それと、何度かお話したのですが、今年もタケノコ掘り、夏みかん狩り、地引き網、芋掘りを、子どもたちを集めてやるのですが、そのときに、子どもたちとふれあって、その材料を子どもたちに調理させることによって子どもたちが、食べ物の大切さ、それと、僕らが一緒にそれを食べることによって咀嚼をする、唾液を出すことによって体が健康になるんだよ。本当は唾液が出ることによって脳の活性化して、頭もよくなるよって言いたいのですが、そこまで言うと押しつけがましくなりそうなので、僕は言ってないのですが、でも、噛んで食べることによって、その食材の味がものすごくよく分かる。おいしいねって子どもたちが皆さん言ってくれるのですよね。だからそういうことを、今年ももっと伝えながら、僕らはやっていきたいなと思っています。

こういう機会があって、調理師さんたちの話が少しできたのは、本当にありがたかったなと思います。本当にありがとうございました。

(天本座長)

調理師の先生として、若い世代に調理技術を伝授していただきたいですし、細かい調理の配慮だとか配膳、盛り付けだとかそういったことは、AIにはできないことですので、AIではできないところは人の手によって、人との繋がりによって、続けていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(藤崎構成員)

北九州市歯科医師会から参加しております藤崎です。歯科医師会では、食育推進講演会を年に1回させてもらっているのですが、例年、歯科医師会で講師を選び、実施していました。この会議に出させてもらったことがきっかけで、天本座長に相談をさせていただき、講師を紹介させていただきました。私の出身大学の九州歯科大学の先生を紹介していただいたのですが、自分の母校のことを何も知らずにいました。

食育推進懇話会に来て食育のことを勉強させてもらいながら、ちょっと自分の人生を1回振り返って見たところです。食育推進講演会の今年のテーマは、ライフステージに合わせた、多職種と連携しての食育について考えようとか取り入れようということを講演していただきました。つい、我々歯科医師の立場から考えると、ゆっくり噛んでとか、先ほど調理師の方から言われた、唾液がたくさん出るよとか、そんなことばかり考えていたのですが、こうやって皆さんの、いろんな職業の方から、食育についていろんな方面から教えていただき、食育推進懇話会に参加させていただいて、つい聞きほれて勉強させていただいているという気持ちになりました。

今後とも、歯科医師会では食育について、講演会等を通して、発信していきますので、またご協力をよろしくお願ひしたいと思います。本当にこの構成員にさせていただきましてありがとうございました。

(天本座長)

口腔機能が備わっていないと、食事できません。健康づくりの観点から、北九州市の重点項目ではオーラルフレイルを挙げておりますので、ぜひ今後とも、歯からの食育推進を、よろしくお願ひしたいと思います。

(安木構成)

北九州市薬剤師会の安木と申します。薬剤師会がなんで食育にいるのだろうと若干思われているのではないかと、個人的に思っていたのですけど。

皆さんは、薬剤師会って何やっているんだ、薬を渡してくれるだけじゃみたいのかなというイメージあるのかなと個人的に思っていたのですけども、学校薬剤師という仕事がありまして、高校まで必ず1人設定設置をする必要があるのですが、そちらで給食室の衛生管理とか、そういう部分にずっと薬剤師は、実は関わりがあって、そういうのも含めてここに来ているというのがあるのと、調剤薬局で私どもは仕事をさせていただいているのですが、調剤薬局の方で糖尿病とか尿酸値が高いとかは、病院に健康診断で引っかかって病院にかかって初めて薬をもらうときに、薬局でどういう食事を変えたらいいのかっていうのを患者さんに聞かれることはすごく多い職業にはなってきます。なので、割と知識を持って、こういうふうに変えていきましょうねとか、こういうふうにしたらいいですよとか、やっぱり糖尿病の患者さんは、血糖値が最近、2か月ぐらいめっちゃくちゃ上がっているのだけどなんでかなという相談を受けた時に、話を聞いていたらお餅をずっと食べていた。お餅は炭水化物ではないと思っていたと言ってくる方もおられるので。そういうところのすごい食に関する隅っこの方を薬剤師会がやっているのかなと個人的には思っています。自分自身がちょっとどうしても仕事が忙しくて全然、食育というか、ごはんをちゃんと食べてないこととかも多く、雑な食生活をしている方なので、今回この食育推進懇話会に参加させていただくことによって、もうちょっと自分も意識して、できるだけ頑張っていこうかなという気持ちにはなったのでちょっと頑張っていきたいと思ひます。今回はありがとうございました。

(天本構成員)

学校薬剤師のことは知りませんでした。薬剤師の皆様は(サプリメント等)栄養素のことはかなり詳しくご存知です。ただ、食となりますと、調理という面もありますので、ぜひ栄養と食を結びつけて、今後ともご指導等よろしくお願ひいたします。

(山下構成員)

北九州市消費者団体連絡会くらしと食の安全部会の山下と申します。

最初から最後までずっと名前言えたのは今日が初めてかなと思いつつ、いつも消団連っていうことで略しております。

私たちの消団連は9つの団体が入っております。大学生協、市職労、健和会労組、エフコープ労組、ほかに幾つかあります。その中でくらしと食の安全部会としては、やっぱり食に関する、くらしに関する、主として活動しております。

今回も北九州市の食育推進計画(素案)は、部会のメンバー全員にコピーをしてお渡しして、今回もいくつか意見を出させていただきました。

ちょっと的外れな意見ももしかしたら出したかも知れませんが、大変申し訳ございません。みんなで話す中で、一つ私がちょっと感じたのが、43ページに「角打ち」っていうのがあって、これが食べ方になっていて。「角打ち」は北九州が食べ方の発祥になるのみたいなところで、やっぱり労働者のまちというのが、何かそれが関係するのかな、みたいなことを部会のメンバーで話をしながら、こういったのも北九州市の特徴になるんだね。という話をしていました。

食の安全部会では、おばあちゃんの知恵袋みたいな、ちょっと年を重ねてきたからこそ今までの経験で、若い人に伝えたいことや、食中毒を出さないための、知恵を出したり、そういったものも含めた冊子を作っております。ぜひ、絵に書いた餅にならないように、私たちも食育推進計画を見ていながら、協力できることをぜひ自分たちで実践していきたいなと思っています。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。

(天本構成員)

「角打ち」に関しては、適度なアルコールは体にいいですし、あと人と人との繋がりもできる、交流などいろいろあります。北九州は労働者のまちでもありますので、「角打ち」は北九州発祥なのですか。

(原田構成員)

発祥です。寝るために飲んでいる。八幡製鉄の方たちが3交代で帰る。朝に帰るから、飲まないで寝られないということで酒屋さんに寄ってひっかけて帰って寝ていたというのが最初なんです。

(天本構成員)

最後に私の方からご挨拶させていただきます。

今回構成員の皆様、そして、事務局の皆様、第四次食育推進計画の策定にご尽力くださって、本当にありがとうございました。

先ほどちょっと原田先生のお話の後に申しましたけども、おそらくこの食育推進計画は、今全盛期のChatGPT等の生成AIに、今の北九州市の現状と「食育」とを入力すると、すぐにでき上がってくるのだと思うのですが、それは多分表面上だけで、やはり細かい配慮などは、市の職員さんとか、市民の皆様との連携の上に成り立つのであって、進めていながら継続や更新されるものであると思っています。皆様の方で第四次北九州市食育推進計画ができ上がっていますので、これが2024年度から動いていきまして、第三次よりもより一層市民の皆様寄り添える形で、食育の展開ができればいいなと思っておりますし、私たち大学教員もまた市の方々と協力し

合いながら、いろいろとサポートしていきたいなと思っております。それからここで繋がりを持っていただいた構成員の皆様方と、食育に限らず今後も連携できることがありましたら是非繋がりを持っていただければと思っております。どうも本当にありがとうございました。

(事務局)

天本座長、構成員の皆様、5回にわたりまして貴重なご意見いただきまして誠にありがとうございました。

それでは議事につきましては、これもちまして終了いたします。最後に、保健福祉局長よりご挨拶を申し上げます。

(保健福祉局長)

皆様どうもありがとうございました。保健福祉局長の武藤でございます。

今回、第5回の食育推進懇話会の閉会にあたりまして事務局を代表してご挨拶を申し上げます。構成員の皆様におかれましては本当に大変お忙しい中、4月から5回にわたり食育推進懇話会にご出席いただきまして幅広いお立場の方々からの貴重なご意見とそれぞれお立場からの日頃の活動ですとか、経験を通じて貴重なご意見ご提言を賜りました。また活発なご議論いただいたと思っております。本当にありがとうございました。

おかげをもちまして、第四次北九州市食育推進計画の最終案をとりまとめることができました。

先ほど構成員の皆様からお褒めいただいたようなところもございますが、しっかりしたものが出来上がったと思っております。特に天本座長におかれましては、議論の取りまとめなど多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。厚く御礼申し上げます。先般実施いたしましたパブリックコメントで、食育の課題ですとか取り組みにつきまして、多くのご意見をいただいたところでございます。

特に次世代を担う若い世代への食育の普及啓発ですとか、地産地消の推進、食文化の伝承など、市民の皆様への幅広い周知を希望する声があったということでございます。

いただきました意見を踏まえて、新しい食育推進計画を推進していきたいと考えております。食はいのちの源ですし、すべての方に関わるものでございます。今回、「食べかたは、生きかただ。」というシンプルで刺さりやすいスローガンを作らせていただきました。

市民の皆様が北九州市の豊かな食のもと、責任と関心を持って、生涯にわたって健康で心豊かに、暮らせるよう、また関連団体の皆様とともに協力、連携して食育を推進してまいりたいと思います。皆様方におかれてましては、今後とも、本市食育の推進に向けて、格別のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

(事務局)

それではお手元の資料5の今後のスケジュールをご覧ください。

今後の予定ですが、市議会常任委員会にて、パブリックコメントの結果と、食育推進計画の最終案のご報告をさせていただきます。

この報告を終えまして、最終的に第四次北九州市食育推進計画が完成する運びとなります。

なお、計画完成後、今年度末の令和6年3月31日をもちまして北九州市食育推進懇話会が終了となります。

最後になりますが、本日の会議の議事録には、公開をさせていただきます。事務局で議事録の作成をいたしまして、市のホームページに掲載をさせていただきますので、ご了承ください。その際、議事録の確認につきましては、これまで通り座長様にお願いしてもよろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして、第5回北九州市食育推進懇話会を閉会いたします。

お忙しい中、長期にわたりまして、計画策定にご尽力いただきまして、誠にありがとうございました。